

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより64号

(平成27年10月発行)

超高速船「レインボージェット」
4月4日 入港 (鳥取港3号岸壁)



INDEX

- 平成27年鳥取港振興会総会開催
- 「レインボージェット」入港で賑わう
- 鳥取港クリーンアップ作戦
- 練習艦「しらゆき」「せとゆき」一般公開・鳥取市防災フェア
- サンセット・漁火クルージング賑わう
- 「みなとオアシス夏まつり」「白い祭り」盛況
- メタンハイドレートコアセンター開所
- クルーズ誘致推進会議開催
- 外国貿易支援制度(御案内)

発行:鳥取港振興会

平成27年度鳥取港振興会総会を開催

～新年度事業計画、新役員を承認～

平成27年5月28日(木)、鳥取市内のホープスターとっとりにおいて、会員51名(委任状29名)の皆様にご出席いただき、平成27年度鳥取港振興会総会を開催しました。

理事会に引き続き開催された総会では、深澤会長(鳥取市長)の議事進行のもと、平成26年度事業報告及び収支決算報告、平成27年度の事業計画及び収支予算について、また、役員任期満了に伴う新役員選出についても審議され、議案はいずれも原案どおり承認されました。

議事終了後は、鳥取県県土整備部空港港湾課梅林係長から「鳥取港の現状について」また、鳥取市経済観光部企業立地・支援課大野課長から「鳥取市における企業立地の現状について」情報提供があり、会員からご質問やご要望を受けるとともに、情報交換会では、会員相互の親睦を深めていただきました。



【鳥取港振興会役員】(総会時) (敬称略)

役職	職名	氏名
会長	鳥取市長	深澤 義彦
副会長	鳥取商工会議所会頭	藤縄 匡伸
副会長	日本通運(株)鳥取支店長	大山 茂生
副会長	鳥取県県土整備部長	長谷川 具章
理事	倉吉商工会議所会頭	倉都 祥行
理事	三洋製紙(株)取締役社長	井川 和永
理事	鳥取県漁業協同組合 代表理事組合長	影山 一夫
理事	鳥取市議会議長	房安 光
理事	三洋テクノソリューションズ 鳥取(株)代表取締役社長	大庭 功
理事	鳥取いなば農業協同組合 代表理事組合長	谷口 節次
監事	日本興運(株)鳥取支店長	鈴木 治典
監事	岩美町長	榎本 武利
専務理事	鳥取県県土整備部空港 港湾課長	森田 豊充
常務理事	鳥取市都市整備部長	藤井 光洋

平成27年度の主な事業計画(抄)

鳥取自動車道全線開通及び山陰近畿自動車道の一部開通、鳥取空港羽田便5便化等により、人・物の動きが活発化し、経済活動の増大、企業誘致等に期待が寄せられる中、鳥取港も高速交通網とのアクセス向上で、より魅力ある港となった。特に、低コスト運送が可能な無料の高速道路利用は、県内はもとより、関西・山陽方面、対岸諸国等との物流を結ぶ環日本海貿易港として発展する可能性が高まった。

これら経済圏との物流・交流の進展に向け、鳥取港と高速道路網を有機的に結びつける提案、並びに北東アジア地域における本港優位性をアピールし外貿案件の掘り起こし等に取り組むことで、鳥取港の貨物取扱量の増大と地域経済の活性化に貢献する。

本会は、平成27年度に次の事業活動を行う。

1 ポートセールス活動

- (1) 地元企業(会員企業含む)の鳥取港利用の掘り起こし、並びに鳥取港と高速道路を結びつけた事業展開が期待される関西・山陽方面の企業等へ利用を働きかける。
- (2) アジア・ゲートウェイを目指し、環日本海諸国などとの外国貿易を促進する。
- (3) 鳥取港ポートパークの利用拡大に取り組み、海洋性レクリエーション活動の健全な発展に寄与する。
- (4) 関係機関や関係団体と連携・協力して利用拡大を図る。

2 客船誘致活動

- (1) 鳥取港クルーズ誘致推進会議の構成メンバーと連携し、小型の外国客船を含む客船誘致と客船の受け入れ(岸壁でのおもてなし等)を行う。
- (2) 船社等との商談会、客船受入れセミナー等に参加し、寄港を働きかけるとともに、最新の業界動向を収集する。
- (3) 鳥取港～隠岐間航路の今後の活用に向け、引き続き関係機関へ働きかける。

「レインボージェット(超高速船)」入港で賑わう

平成27年4月4日(土)、鳥取・島根両県の世界ジオパークを結ぶ鳥取港・隠岐間の航路実現に向けて、隠岐汽船株式会社が運航する超高速船「レインボージェット」が、鳥取港・隠岐間トライアルモニターツアーで鳥取港に入港しました。接岸した3号岸壁では、約100名の乗船客やお見送りの方にイガイの吸物がふるまわれ、大いに賑わいました。

「レインボージェット」の鳥取港入港は、3月15日の試験運航以来2回目ですが、ツアー客乗船のための入港は、今回が初めてになりました。

入港記念セレモニーでは、鳥取県林副知事並びに鳥取商工会議所大谷専務理事の歓迎挨拶の後、賀露神社氏子による賀露麒麟獅子舞や逢鷲太鼓連による和太鼓演奏で歓迎し、入港を祝しました。

ツアーでは、隠岐の国賀海岸などダイナミックで美しい自然や史跡等を巡る離島への旅を楽しんでいただきました。



鳥取港クリーンアップ作戦

6月10日(水)、鳥取港クリーンアップ作戦が行われました。鳥取港へ進出されている企業、港湾の関連企業や利用団体などから約120名の参加があり、岸壁や緑地、駐車場等のゴミ拾い、不法投棄の点検などが行われました。約1時間の作業でしたが、約330キロのゴミが収集され、夏に向けてきれいな港になりました。



自衛隊練習艦「しらゆき」、「せとゆき」一般公開・鳥取市防災フェア

海上自衛隊の練習艦「しらゆき」と「せとゆき」(それぞれ2,950トン乗員約180名)の一般公開が7月11日(土)、12日(日)、鳥取港1号岸壁で行われ、多数の親子連れなどで賑わいました。見学した市民は、威圧感のある艦影と、高性能20mm機関砲、62口径76mm速射砲、短魚雷発射管、艦対艦誘導弾など、迫力ある装備の数々に圧倒されていました。

また、12日は、防災意識の高揚と地域防災力の向上を目指して、隣接する3号岸壁と上屋において「鳥取市防災フェア2015」が開催されました。東日本大震災のパネル展示やはしご車体験搭乗、津波・液化化体験コーナー、ちびっこコスプレコーナーなど、多数の来場者が防災について考える機会となりました。



サンセット・漁火クルージング賑わう

恒例となった賀露みなと観光協会(会長:山田哲彦氏)主催の「サンセット・漁火クルージング」が7月17日~8月15日まで開催されました。

今年は、夜の白イカ祭りクルーズ(7月19日)も加え、計9回の出港で、273名(うち子ども42名)の方が乗船されました。

日本海に沈む夕日、済んだ海、赤く染まる海に魅了されました。

セットとなっている食事も、地元の新鮮な魚介類がふんだんに使われ大好評でした。

今後も多くの皆さんに、サンセット・漁火クルージングで美しい風景を楽しんでいただきたいものです。



サンセット・漁火クルージングの様子

「鳥取・賀露みなとオアシス夏まつり」、「賀露白いか祭り」盛況

「鳥取・賀露みなとオアシス夏まつり2015」が、7月20日(海の日)に、賀露かっこ館をメイン会場に開催され、多くの家族連れで賑わいました。

毎年盛大に行われるこのお祭りも今年で13回目となり、鳥取の夏に欠かすことのできないイベントとなりました。魚のつかみ取りやかにつり大会、ミニ遊園地、巡視艇「とりかぜ」の乗船体験など、子どもたちの歓声が響き渡りました。

また、賀露地区では鳥取の夏を代表する幸、白いかを楽しむ「白いか祭り」も同時開催され、厳選9品の白いか丼の中から1番を決める「白いか丼グランプリ」など、グルメを集めた屋台が出店しました。ウォークラリーやイカ漁船乗船体験なども行われ、家族揃って海の日を満喫していました。



明治大学鳥取メタンハイドレートコアセンターの設置

明治大学鳥取メタンハイドレートコアセンターは、明治大学のガスハイドレート研究所が、日本海沖で行われている表層型メタンハイドレートの資源調査等で採取される海底地質資料（コアサンプル）を保管するための施設で、明治大学が鳥取県と連携して鳥取港湾事務所1階に設置し、9月3日（木）に開所式が行われました。

この施設は、メタンハイドレートの資源化へ向けた調査研究を行うとともに、明治大学とメタンハイドレート化学講座を設置する鳥取大学との教育と研究に寄与し、地域の発展に貢献することを目指し設置されました。

また、鳥取県は新しいエネルギー資源として期待されているメタンハイドレートの国による資源調査・開発に協力し、地元の開発気運を醸成させる普及啓発事業や、調査や採掘技術の開発を担う人材を育成し、開発による利益が地元還元する仕組みの構築を目指しています。



関係者によるテープカットが行われました



松本良明治大学研究所長から施設とコアサンプルについて紹介されました

鳥取港クルーズ誘致推進会議の開催

平成27年9月28日（月）、県庁会議室で鳥取港クルーズ誘致推進会議を開催しました。この会議は、鳥取港の活性化と近隣市町村の観光振興に寄与するクルーズ客船の誘致を目的として、平成20年に設置され現在18団体で構成しています。

当日は、にっぽん丸を所有・運航の商船三井客船（株）から、大森 司経営管理グループ主管にオブザーバーとしてご出席いただき、クルーズ船の誘致活動におけるポイントや効果的な対策についてご助言をいただきました。大森様からは、「鳥取砂丘は、鳥取港から10分程度と近いので、この立地環境を活かした誘致活動を行ってほしい。」など、貴重なアドバイスをいただきました。

また、参加者からは、「観光マイスターの資格を持ったタクシードライバーが案内できることをアピールしてほしい。」「広告宣伝も一昔前のチラシ・ポスターからネット中心になっており、有効に活用してはどうか。」など、貴重なご意見をたくさんいただき、今後の誘致活動に生かしていくこととしました。



クルーズ誘致推進会議の様子

外国貿易支援制度(御案内)

定期(コンテナ)航路のない鳥取港において、外国貿易(輸出入)貨物の取扱いを増やし、港湾利用を促進するため、鳥取港を利用された荷主又は輸出入者の方に、港湾荷役経費の一部補助と港湾施設使用料の減免を行います。

<問い合わせ先> 鳥取港振興会事務局

支援内容

(1) 港湾荷役経費の一部補助

(申込先: 鳥取港振興会)

①～③何れかに該当する場合、年度内の1取引に限り、鳥取港での港湾荷役経費の2分の1を補助します。

⇒ 補助上限額

- ① 鳥取港にとって新規貿易貨物(※2)の場合 …………… 100万円
- ② 荷主又は輸出入者にとって新規貿易貨物(※2)の場合 …………… 50万円
- ③ 荷主又は輸出入者の貿易貨物量が増加(※3)した場合 …………… 50万円

※1. ①～③の併給はありません。

※2. 新規貨物の判断は、実行関税率表の分類単位で行い、過去5年間鳥取港で取扱いがない品目とします。

※3. 貨物量が、前年度及び過去3カ年度平均実績と比較し年間500t(又はm)以上増加した場合とします。

※4. 見本品や試供品等の輸出入は対象外とします。

(2) 港湾施設使用料の免除

(申込先: 鳥取港湾事務所)

「(1) 港湾荷役経費の一部補助」を受けた事業者に対して、同貿易に係る港湾施設使用料が免除されます。

②は、平成27年7月に新たに施行されました。

- ① 岸壁使用料、荷役機械・上屋・野積場使用料を最長10日間免除する。
- ② 原木輸出における野積場の使用料は、最長30日間免除し、免除する野積場の使用面積の上限は6,000㎡とする。



密輸(薬物・銃器)・密航

何か
おかしいなと
感じたら
118番
海上保安庁
緊急電話番号

水際防止

118番は海上保安庁緊急電話番号です。



「安全・安心な社会を目指して」
密輸情報の提供にご協力ください!

密輸ダイヤル(24時間受付)
シロイクロイ

0120-461-961

(携帯からも利用できます)

神戸税関 境税関支署 鳥取監視署

TEL.0857-25-1115



編集後記

ポートセールス活動など、県内外の方とお会いする機会があるのですが、県外の方に鳥取の印象を聞くと、やはり「鳥取砂丘、自然が豊か、食べ物おいしい」などの意見が多くを占めます。そのような中、「最近、スターバックスができましたね」と言われることも増えました。以前、平井知事が、鳥取砂丘について、ダをジャレを交えて紹介されていたことに、実は大きな発信効果があるのだと改めて感じた次第です。

鳥取港が魅力ある港として更に発展していくことを願いつつ、地道な取り組みを続けたいと考えておりますので、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願い致します。(前田)

知って得するEPA!

EPA(経済連携協定)をご存じでしょうか。EPAとは2以上の国・地域の間で締結される協定であり、FTA(自由貿易協定)の要素に加え、貿易以外の分野を含めた幅広い経済関係の強化を目的としたものです。EPAやFTAを利用すると、通常よりも低い関税率を適用し、輸出入することができます。現在、日本とEPAが発効済み、または、署名済みの国及び地域は、ASEAN諸国を中心として15に及びます。

平成27年2月、日本にとって15番目の相手国となったモンゴル国との間において、EPAの署名がなされ、発効に向けて国内法の整備が進められています。(モンゴル国にとっては、初のEPA署名となります。)このEPA発効により、条件はありますが、例えば、モンゴル国への輸出については、自動車に課せられる関税が撤廃となり、モンゴル国からの輸入については、鉱工業品やペットフード等の関税が撤廃されることとなります。

日本とモンゴル国の物流は、「日本→中国→モンゴル」と「日本→ロシア(ウラジオストック)→モンゴル」といった経路があります。中国・ロシアへの定期航路を持つ鳥取県においても、EPA活用により貿易振興に繋げることが可能となるかもしれません。EPAの活用を検討してみたいはいかがでしょうか。

鳥取港振興会新会員(敬称略)

—よろしくお祈りします—

組織名 **有限会社 湯川建設**
代表者 代表取締役 湯川 繁
所在地 鳥取市湖山町東4丁目90番地

鳥取港振興会事務局

〒680-8570
鳥取市東町1丁目220番地(県本庁舎5階)
TEL(0857)22-1836/FAX(0857)22-1848
E-mail: tottoriport@tea.ocn.ne.jp